

学校名	三郷市立栄中学校
所在地	三郷市栄4-325
電話	048-952-1201

1 本校の概要

本校は三郷市の南部に位置し、昭和49年に新設され、開校36年目である。現在10学級の中規模校である。「自ら学ぶ生徒、豊かな心を持つ生徒、心身を鍛える生徒」を学校教育目標に掲げ、教職員が一丸となって特色ある学校づくりを行っている。その中心として朝読書、基礎基本の徹底、漢字学習に力を入れて取り組んでいる。

2 本校の実践の概要

(1) 読書環境の充実

① 掲示・展示の工夫

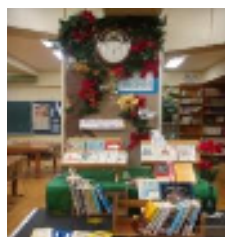


月ごとにテーマを変え、様々なジャンルの本を紹介するコーナーを設定している。生徒の読書は文学作品に偏りがちであるが、こうすることにより、いろいろなジャンルの本への興味を高め、手にとってみたくなるようにした。

また推奨する本には、あらすじを書いたPOPをつけた。

《分野別貸出数》

- | | |
|-------------|------------|
| ・文学・・・127冊 | ・自然科学・・・7冊 |
| ・芸術・・・16冊 | ・産業・・・4冊 |
| ・社会科学・・・11冊 | ・技術・・・2冊 |
| ・言語・・・10冊 | ・歴史・・・1冊 |



図書ボランティアが作成した掲示物は、季節ごとに図書室を変容させ、明るい雰囲気をつくりだしている。生徒にも好評である。

② おすすめ本投稿BOXの設置

生徒がおすすめの一言を書いて投稿した用紙を掲示するようにしている。生徒同士がよい作品を共有する場になっている。



③ 昼休みの開館

『いつでも開いている図書館』を定着させるため、図書委員が当番で毎日昼休みの貸出業務を行う。生徒は本を借りに来るだけでなく、定期試験前などは自習室として利用し、学習している姿も見られるようになっている。

(2) 図書ボランティアとの連携

① 図書室整備・掲示物作成

② 長期休業中、放課後の開館

図書委員だけでは開館できない時間帯や日程などに来ていただき、より多くの生徒に使用してもらうために開館している。

- ・長期休業中の開館
→107冊の貸出
- ・三者面談中の開館
→延べ163人
- ・定期試験期間の開館
→毎日たくさんの利用
- ・毎週月曜日（夏以降）
→部活を引退した3年生の学習の場として



3 成果と今後の課題

図書ボランティアの協力により、環境が整い、手作りの掲示物ができ、昼休み以外も開館することができた。その結果、子どもたちにとって図書室が身近な場所となり、足を運ぶ回数が増え、読書量の増加につながっている。教職員の意識も高まり、授業や補習で図書室を利用することも増えている。

今後は、問題意識をもって読むことや、学力向上につながるような取組を行い、さらなる読書活動の推進を行ってきたい。